

「第4回ぎふ清流未来の会議」 開催結果

森・川・海で環境学習に取り組む子どもたちが、世代や分野を越えて、日頃の活動成果を発表し合い、相互の取り組みに対する理解を深めるとともに、森・川・海のつながりを踏まえた交流の促進を図ることを目的とした「ぎふ清流未来の会議」を平成26年11月29日（土）に岐阜県立森林文化アカデミーで開催しました。

当日は、小・中・高等学校・団体の児童・生徒約100人が参加し、成果発表や自然体験を行いました。

環境学習交流会

日頃の環境学習・環境保全活動について、県内外の小中高等学校・団体（4校1団体・約100名）が発表しました。

県内の小中高等学校が森・里・川での活動について、また、三重県四日市市から参加のイオン四日市尾平チアーズクラブが海の活動について、小グループに分かれてお互いに発表し合う発表交流を行いました。

発表交流後には、森林文化アカデミー准教授の萩原裕作先生から講評をいただきました。

参加校・団体の発表テーマ

森

東白川村立東白川中学校 1年生

テーマ：“「ふるさと学習」～環境を考える～”



里

岐阜県立岐阜農林高等学校 森林科学科 2・3年生

テーマ：“野生生物について考えよう”



郡上市立川合小学校 5年生

テーマ：“田んぼと生き物”



川

高山市立宮小学校 5年生

テーマ：“川の始まり・・・源流の森から河口へ”



海

イオン四日市尾平チアーズクラブ

テーマ：“海的环境～伊勢湾のゴミの現状～”



グループ交流



講評



森とつながるプログラム

グループのみなんで協力し、森に落ちている木々や葉っぱなどを使い、森の隠れ家作りを行いました。

